

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公表番号】特表2015-522338(P2015-522338A)
 【公表日】平成27年8月6日(2015.8.6)
 【年通号数】公開・登録公報2015-050
 【出願番号】特願2015-519407(P2015-519407)
 【国際特許分類】

A 6 1 L 2/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 L 2/08 1 0 6

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月8日(2016.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

皮膚領域の、とりわけ、手の消毒のための装置であって、
 消毒チャンバと、
 前記消毒チャンバ内の皮膚領域を赤外光の少なくとも1つのパルスにさらすための赤外線源と

を有し、前記パルスは、5秒よりも短い継続時間を持ち、前記消毒チャンバは更に、物体の存在及び/又は所在を検出するためのセンサを有する装置。

【請求項2】

前記皮膚領域における前記パルスのエネルギー密度が、約0.1J/cm²より高く、且つ/又は約10J/cm²より低いことを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記パルスの持続期間が、約1秒より短く、且つ/又は約0.1ミリ秒より長いことを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記赤外光の波長が、約1.5μmより長く、且つ/又は約30μmより短いことを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項5】

後続の赤外光パルス間の休止期間が、約1ミリ秒より長く、且つ/又は約5秒より短いことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の装置。

【請求項6】

前記赤外光パルスが、空間的に不均一な特性で前記皮膚領域に印加されることを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項7】

前記赤外線源が、少なくとも1つのLED、フラッシュ装置、及び/又は赤外線レーザを有することを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項8】

前記赤外線源の照射ゾーンが、前記消毒チャンバ内の前記皮膚領域にわたって移動させられることを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項9】

前記消毒チャンバが、消毒されるべき指の別々の収容のための区画を有することを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

前記消毒チャンバにおいて物体が検出されるときに、赤外光パルスの生成が開始されることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

皮膚領域の、とりわけ、手の消毒のための装置を制御する方法であって、前記装置は、消毒チャンバと、

前記消毒チャンバ内の皮膚領域を赤外光の少なくとも 1 つのパルスにさらすための赤外線源と

を有し、前記パルスは、5 秒よりも短い継続時間を持ち、前記消毒チャンバは更に、物体の存在及び / 又は所在を検出するためのセンサを有し、

前記方法は、

前記消毒チャンバにおける物体の存在及び / 又は所在を検出するステップと、

前記赤外線源に電力を供給して、1 つ以上の赤外光パルスの照射を開始するステップと、

を有する方法。

【請求項 12】

前記赤外線源の照射ゾーンが、前記消毒チャンバ内の前記物体にわたって移動させられるように前記赤外線源を制御するステップを更に有する、請求項 11 に記載の方法。